



P90 分娩シュミレーターBasic／Pro

3B Scientific 分娩シミュレーター

目次

Basic版およびPro版について	3
特徴	4
構成品	5
ご使用前の準備とアップグレードの際の手順	7
ピンとリングによる取り付け	7
ピンとリングの着脱	7
腹壁	7
腹壁の取り外しおよび取り付け	7
腹壁インサート	8
子宮口および外陰部	8
外陰部の交換（Basic版）	8
子宮口の交換（Basic版およびPro版）	9
外陰部と子宮口の取り付け（Pro版）	9
膨張式子宮インサート	9
臍帯	10
分娩シミュレーション	11
はじめに	11
分娩の準備	11
分娩シミュレーターの固定	11
分娩練習の進め方	11
陣痛と胎児用潤滑剤	11
臍帯の切断	11
胎位、胎向の診断	12
前方後頭位（正常分娩）	12
後方後頭位	12
骨盤位	12
帝王切開	13
発生頻度の高い妊娠・分娩の異常への対処	13
肩甲難産	13
前置胎盤	14
臍帯の異常	14
人工破膜	15
胎盤遺残	15
お手入れ方法	16
技術データ	16
本体および部品リスト	16

3B Scientific 分娩シミュレーター

▶ Basic版およびPro版について

この度は、分娩シミュレーターBasicまたはProをご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品では様々な胎位・胎勢を再現し、正常分娩および帝王切開を含む異常分娩を練習することができます。胎児モデルには、泉門、成形された肩、開いた口が再現されています。臍帯は切断することができ、短く切断すれば最大5回程度まで切断、再使用することができます。胎盤には、部分的な胎盤遺残を再現するため2ヶ所取り外せる部分（胎盤インサート）があります。

弊社の分娩シミュレーターの構造は、母体の脊柱のS字カーブを考慮したもので、胎児の四肢の関節は広い可動域を実現しています。使用素材は、軟質PVCとシリコンです。

分娩シミュレーターBasicは、別途アップグレードキットをご購入いただくことにより分娩シミュレーターProと同様の機能にアップグレードすることができます。アップグレードキットにはPro版に付属するレオポルド触診練習のための膨張式子宮インサート、シミュレーター固定用ベルトや解剖学的によりリアルな形状の外陰部や子宮口が含まれ、リアリティが高まり、練習の幅も格段に広がります。



Basic
品番：P90B



Pro
品番：P90P

3B Scientific 分娩シミュレーター

特徴

Basic版とPro版では付属するパーツが異なり練習可能な項目に違いがございます。下記の表をご覧ください。

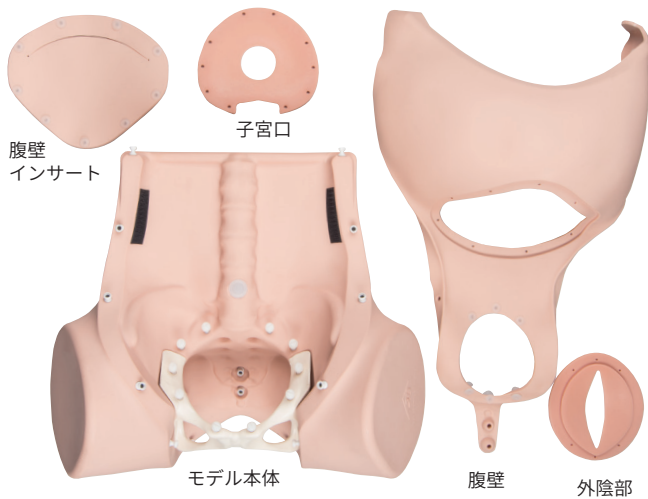
シミュレーター	特徴	Basic	Pro
		シンプルな外観と分娩メカニズムの再現	よりリアルな外観と分娩メカニズムの再現
母体モデル	練習中の安全対策	1. ベース部の滑り止め 2. ベース部の持ち手（ハンドル）	1. ベース部の滑り止め 2. ベース部の持ち手（ハンドル） 3. シミュレーター固定用ベルト
	外陰部	平面的な外陰部，膣部の再現なし	解剖学的に成形された外陰部，膣部の再現あり
	子宮口	平面的な開口部	立体的に解剖学的に成形された開口部
	骨盤	解剖学的に成形された骨盤形状	
	膨張式子宮インサート	なし	1. レオポルド触診の練習時用 2. 帝王切開用の子宮壁
	腹壁インサート（帝王切開）	予め切開されたPVC製の腹壁	筋層パッドのついたシリコン製皮膚の腹壁（未切開，切開可能）
胎児モデル	関節	可動式関節（首，肩，肘，股，膝）	
	重要な解剖学的構造	1. 泉門 2. 肩甲骨 3. 開いた口	
	臍帯	1本につき最大5回程度まで切断練習可能，交換式	
	胎盤（マジックテープ付）	腹腔内にマジックテープで固定可能 胎盤には2ヶ所の取り外し可能部位があり，胎盤遺残を再現可能	



3B Scientific 分娩シミュレーター

構成

Basic



モデル本体

取り外し可能部品

- ・腹壁
- ・腹壁インサート（PVC製）
- ・子宮口（Pro版と比べ平面の形状）
- ・外陰部（Pro版と比べ平面の形状、膣部なし）

潤滑剤

予備留め具セット（5mm六角棒スパナ、ピン3個、リング15個）

胎児

Pro



モデル本体

取り外し可能部品

- ・腹壁
- ・筋層パッド付きシリコン製腹壁インサート（切開可能）
- ・膨張式子宮インサートと子宮壁（子宮壁は切開および交換可能）
- ・子宮口（解剖学的に成形）
- ・外陰部（解剖学的に成形、膣部あり）
- ・羊水インサート（卵膜），100枚
- ・シミュレーター固定用ベルト（モデル本体を台などに固定）

潤滑剤

模擬羊水液

予備留め具セット（5mm六角棒スパナ、ピン3個、リング9個）

胎児

胎児（PROおよびBASIC用）



胎児

取り外し可能部品

- ・臍帯と臍帯クランプ2個
- ・胎盤
- ・胎盤インサート2個（マジックテープ付）

3B Scientific 分娩シミュレーター

構成

アップグレード（Basic版からPro版へ）

取り外し可能部品

- 腹壁
- 筋層パッド付きシリコン製腹壁インサート（切開可能）
- 膨張式子宮インサートと子宮壁（子宮壁は切開および交換可能）
- 子宮口（解剖学的に成形）
- 外陰部（解剖学的に成形，膣部あり）
- シミュレーター固定用ベルト（モデル本体を台などに固定）
- 羊水インサート（卵膜）

潤滑剤×2

模擬羊水液×3

固定ベルト用ホルダー×2



3B Scientific 分娩シミュレーター

▶ご使用前の準備とアップグレードの際の手順

ピンとリングによる固定

外陰部（Basic版）と腹壁インサート（Basic版およびPro版）は、ピンとリング（必要時）を使用して、それぞれ腹壁に固定されます。



ピンとリングの着脱



注意：

リングを外す際に爪で持ち上げるのが難しい場合があります。その場合は下記の要領でお試ください。

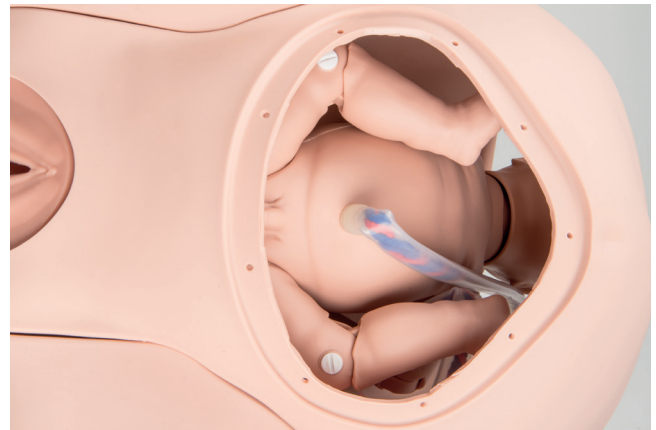
- 周囲部分の損傷を避けるために、鋭利でない平らなヘラなどを使用して緩めて下さい。
- 腹壁とリングの間にヘラを差し込みスライドさせてピンを緩めて下さい。

- 指の爪でリングを持ち上げて外します。
- 爪で外すのが難しければ、平らなヘラのようなものを使用して、ピンからリングをこの要領で外して下さい（先端が鋭利な道具を使うと部品に傷が付くおそれがありますのでご注意ください）。
- リングを使用してピンを留める際は、リングを1つ目の溝にはめ込んで下さい。（それ以上押し込まなくても、これで十分な保持力があります。）

腹壁

腹壁は取り外すことができます。腹壁を取り外した際は、子宮口などのパーツの交換のほか、実習生に分娩の仕組みを説明し理解させるのにも役立ちます。別売キットを購入しBasic版からPro版にアップグレードする際も外陰部および子宮口の交換のために腹壁全体を取り外す必要があります。

腹壁の取り外しおよび取り付け



注意：

腹壁は14か所*あるくぼみ（1か所は穴）を本体側の対応するプラスチックピンにはめ込んで固定します。固定すると接続部分は見えなくなります。

- 取り外す際はしっかりと均一な力で引っ張り上げて腹壁を外して下さい。
- 腹壁がたるんだり破損したりするのを防ぐため、取り外す際は必ず結合部の近くを持って引っ張る力が結合部に直接作用するようにして下さい。
- 急激に引っ張らないように注意して下さい。

*Pro版では、13か所で固定します。（残り1か所は外陰部の固定に使用します。）

腹壁の取り外し

- テーブルなど滑りにくい台に分娩シミュレーターを置きます。
- 腹腔上部から腹壁を外します。
- 尾骨部分以外の結合部を外せばシミュレーター内部を露出させることができます。

3B Scientific 分娩シミュレーター

腹壁を完全に取り外した場合、再度取り付ける際に以下の点をご注意下さい。

腹壁の取り付け



注意：

腹壁の取り付けは、必ず分娩シミュレーターのいちばん下（尾骨部分）から始めて下さい。他の部分から始めると尾骨部分を取り付けるのが困難になります。

- ・ テーブルなど滑りにくい台に分娩シミュレーターを置きます。
- ・ 最初に尾骨部分から腹壁を取り付けます。
- ・ 次に、腹腔に向かって上方向に順番に留めていきます。
- ・ 腹壁の最上部を本体に留める際には、腹壁を少し引っ張る必要があります。

腹壁インサート



アドバイス：

経陰分娩の練習時では腹壁インサートはリングを使用しなくともピンで腹壁に緩く留まっていれば十分使用できます。一方、帝王切開の練習時には、娩出の際に腹壁インサートに負荷がかかりますのでピンに加えてリングも使用してしっかりと固定してください。

- ・ 腹壁上の取り付け位置に腹壁インサートを置きます。
- ・ 腹壁インサートを腹壁にピンで固定します。（帝王切開時はリングをご使用下さい。）

子宮口および外陰部

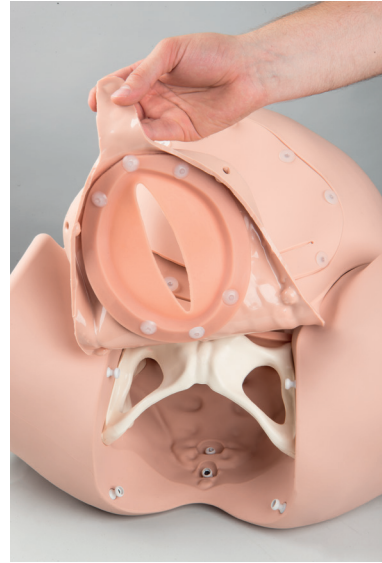
Basic版とPro版の子宮口と外陰部はそれぞれ形状と固定位置が異なります。Basic版の外陰部は膣部を含まず、腹壁にピンとリングで固定されます。一方、Pro版の外陰部は膣部を含み、仙骨と骨盤骨（腸骨稜）で固定されます。

Basic版をPro版にアップグレードする際は、以下の手順で行います。

- ・ Basic版の腹壁を取り外します。
- ・ 骨盤骨からBasic版の子宮口を取り外します。
- ・ 仙骨にPro版の外陰部（膣部あり）を取り付けます。
- ・ 骨盤骨にPro版の外陰部（膣部あり）、子宮口の順に取り付けます。
- ・ Basic版からPro版の腹壁に交換します。

外陰部の交換（Basic版）

Basic版の外陰部は6箇所のピンとリングで腹壁に取り付けられています。



- ・ 「腹壁の取り外しおよび取り付け」の手順に従い腹壁を外します。
- ・ 「ピンとリングの着脱」に記載されているとおりに、腹壁の裏側の6個のリングを外します。
- ・ 交換用の外陰部を用意します。
- ・ 外陰部を腹壁の裏側に配置し、ピンを腹壁側から差し込みます。
- ・ ピンの先にリングを取り付けしっかりと固定します。
- ・ 破損を防ぐため、固定の際にピンを腹壁に過度に押し付けないようご注意ください。



- ・ 本体に腹壁を取り付けます。

3B Scientific 分娩シミュレーター

子宮口の交換（Basic版およびPro版）

子宮口は、シミュレーター本体の骨盤骨（腸骨稜）からでている10本のプラスチックのネジに固定されます。子宮口のネジ穴をネジに押しあてただけで穴が広がってはめ込むことができます。取り外す際もネジを緩めることなく子宮口を引っ張り上げるだけで外すことができます。

- 子宮口を骨盤部のネジから取り外します。



- 新しい子宮口に交換します。
- Basic版をPro版にアップグレードする際は、Pro版の外陰部（膣部あり）、子宮口の順に取り付けを行います

外陰部と子宮口の取り付け（Pro版）

- 外陰部（膣部あり）、子宮口の順に骨盤骨の10本のネジに取り付けます。



膨張式子宮インサート



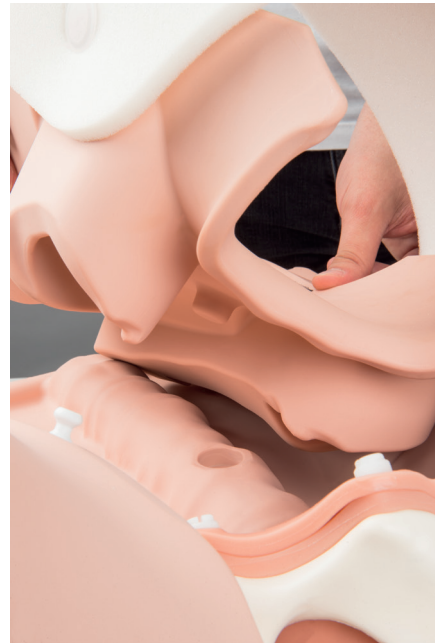
注意：

膨張式の子宮インサートは腹腔内に入れレオパルド触診の練習用に膨らませることができます。

膨張式子宮インサートの背面にある突起を腹腔の脊柱上にある穴にあわせるようにしてセットします。Basic版ではこの穴はキャップで閉じられています。



腹腔内に膨張式子宮インサートを入れる前にキャップを取り外します。（Pro版では最初から取り外されている場合があります。）



- 膨張式子宮インサートを上からセットします。
- この際、腹腔内の脊柱上にある穴に膨張式子宮インサート背面の突起をあわせてセットします。

3B Scientific 分娩シミュレーター

臍帯



注意：

臍帯は末端部分のネジ式の接続部品で胎児と接続されます。臍帯は1本につき最大5回程度まで切断の練習をすることが可能です。臍帯を5回以上切断すると分娩シミュレーションには短過ぎる場合があります。

- ・ 臍帯の末端部分を回して胎児から取り外します（反時計回り）。



- ・ 取り外した臍帯の末端部分のキャップを回して外し、臍帯外側のシリコンチューブの末端を露出させます。



- ・ 切断した臍帯の短い方の端からシリコンチューブを引き抜きます。



- ・ 六角穴付きボルトを使用して、青と赤のひもをネジのついた末端部品にねじ込みます。
- ・ 付属の5 mmの六角棒スパナで、六角穴付きボルトを外します。



- ・ 長い方の臍帯からひもを約2〜3 cm引き出します。
- ・ 青と赤のひもをねじり合わせます。
- ・ ネジのついた末端部品にねじったひもを入れます。



- ・ 六角穴付きボルトでひもを固定します。
- ・ ネジのついた末端部品にシリコンチューブをかぶせます。



- ・ 臍帯とひもを少し回します。
- ・ 末端部品にキャップを取り付けます。
- ・ 胎児のへそに臍帯の末端部品を回しながら取り付けます（時計回り）。

3B Scientific 分娩シミュレーター

分娩シミュレーション

はじめに

以降のページは、主に分娩シミュレーターを使った実演や練習を準備する方に向けたものです。異なる胎位、胎向における手順と分娩の練習について概説しています。いくつかの写真では腹壁を外して分娩シミュレーターの内部がよくわかるようにしてあります。

分娩の準備

分娩シミュレーターの固定

ゴム製の滑り止めがついたベース部側を平らな台の上に置きます。

Pro版では、付属の固定用ベルトを使用してテーブルなど台にさらにしっかりと固定することができます。



- ・ 分娩シミュレーターの下側にあるベルトホルダーの片方に固定用ベルトを通します。
- ・ マジックテープを留めます。
- ・ テーブル、ベッドなど台の上に分娩シミュレーターを置きます。
- ・ 台の下側および周囲に固定用ベルトを回します。
- ・ 分娩シミュレーターの反対側のベルトホルダーに、固定用ベルトを通します。
- ・ 分娩シミュレーターが動かないように、固定用ベルトをしっかり引っ張ります。
- ・ マジックテープを留めます。



分娩練習の進め方

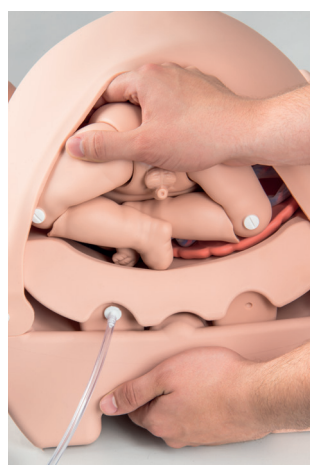


アドバイス：

分娩シミュレーションは常に二人（アシスタントと練習者）で行うことが推奨されます。アシスタントは、分娩シミュレーターの持ち手を掴んで所定の位置に保持しながら、後ろから胎児を操作します。練習者は、経膣または帝王切開で分娩手技の練習を行います。

陣痛と胎児用潤滑剤

分娩シミュレーターの下側には、アシスタントが練習中に定位置に分娩シミュレーターを保持するための持ち手が備わっています。



アシスタントはもう一方の手で陣痛をイメージしながら胎児を子宮から産道へ向かうように断続的に押します。

- ・ 練習時には必ず十分な量の潤滑剤を外陰部から子宮口、そして胎児の頭部、肩、背中、臀部に塗布してください。骨盤位の場合は脚にも十分塗布してください。



臍帯の切断

切断可能な臍帯は5回程度まで切断の練習が可能です。

- ・ 胎児の身体から10 cmほどの位置で臍帯を切断します。

3B Scientific 分娩シミュレーター

胎位、胎向の診断

膨張式子宮インサートを使用するとレオポルド触診法など腹壁の上から胎位・胎向を診断するための触診が可能になります。

- ・ 腹腔内に膨張式子宮インサートを入れます。
- ・ 膨張式子宮インサートの背面の突起が脊柱上の穴にはまっていることを確認して下さい。
- ・ 胎児を任意の姿勢にして膨張式子宮インサートの上に置いて下さい。
- ・ 腹壁を通して胎児の体の感触が分かるようになるまで、ポンプを使用して膨張式子宮インサートを膨張させて下さい。

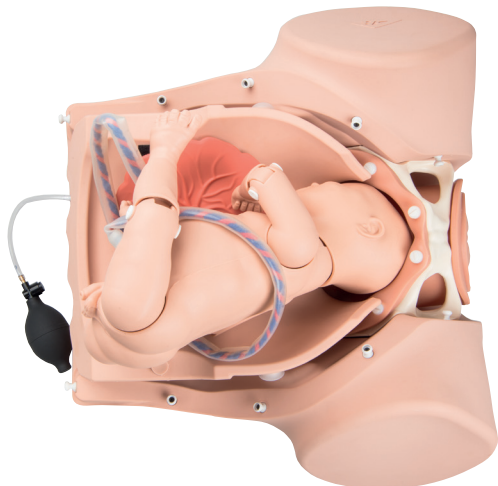


- ・ 子宮と胎児を取り除く、または胎児の姿勢を変える際は、必要に応じて空気抜き弁から空気を逃がして下さい。
- ・ 十分に空気が抜けるまで、空気抜き弁のボタンを押し続けて下さい。

前方後頭位（正常分娩）

ほとんどの場合、胎児は子宮内で頭を子宮口に向けています。胎児の背中が母体の左側に向いている（第1胎向）または母体の右側に向いている（第2胎向）という2種類の胎向があります。

児頭の後頭部が母体の前を向いていると、前方後頭位になります。児頭の後頭部が母体の後ろを向いていると、後方後頭位になります。

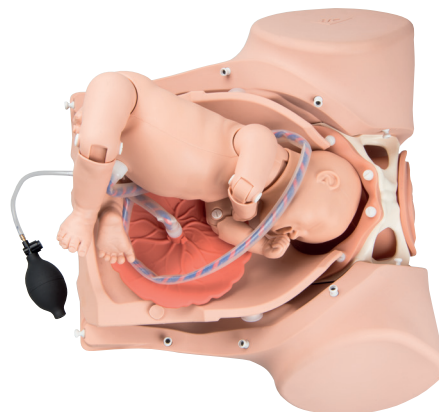


- ・ 外陰部から子宮口、胎児に十分な量の潤滑剤を塗ります。
- ・ 分娩シミュレーターに胎児を第1胎向（写真参照）または反対側に向けて第2胎向でセットします。
- ・ 陣痛をイメージしながら、子宮口へと胎児を押します。

後方後頭位

後方後頭位は、児頭の後頭部が母体の後ろを向いた状態です。

- ・ 外陰部から子宮口、胎児に十分な量の潤滑剤を塗ります。
- ・ 分娩シミュレーターに胎児を第1または第2胎向で入れます。
- ・ 陣痛をイメージしながら、子宮口へと胎児を押します。
- ・ 児頭の後頭部が母体の後ろを向くようにします。



骨盤位

骨盤位は、胎児の先進部が骨盤部となる胎位です。大きく殿位、膝位、足位の3つに分類されます。



アドバイス：

必ず練習前に胎児の体に十分な量の潤滑剤を塗布して下さい。

- ・ 外陰部から子宮口、胎児の下半身（特に脚、殿部、腰部）を中心に全身に十分な量の潤滑剤を塗って下さい。
- ・ 骨盤位での産道の通過はより困難であるため、通常より力を加える必要があります。

単殿位

- ・ 胎児の脚を上げて足が上を向くようにします。



3B Scientific 分娩シミュレーター



アドバイス：

全膝位と不全膝位，全足位と不全足位が再現可能です。

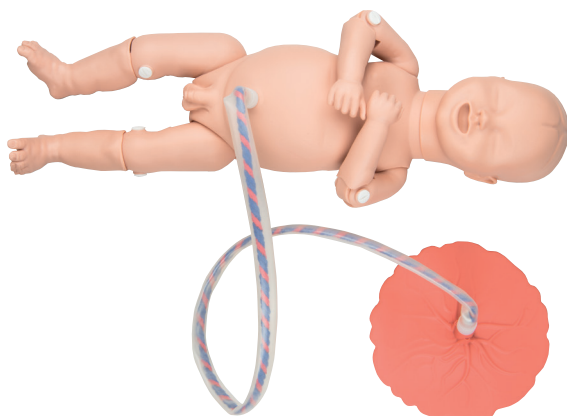
複殿位

- 胎児の股関節と膝関節を曲げます。



足位

- 胎児の股関節と膝関節を伸ばします。



児頭の牽引と誘導

胎児の口は開いています。Veit-Smellie法などで胎児の口の中に指を入れて，牽引することができます。

帝王切開

Basic版の腹壁インサートには，最初から帝王切開の開口部が付いています。Pro版の腹壁インサートは開口部が無く，縦または横の切開による帝王切開の実演および練習が可能です。また，膨張式子宮インサートには，切開できるフォーム素材の子宮壁が取り付けられています。子宮壁は左右対称の形状で，反対にひっくり返すことにより，2度目の練習が可能です。

- 腹壁インサートをピンとリングで固定します。
- 腹壁インサートの下3分の1の部分で水平に切開します。



- 腹壁インサートの皮膚層（上層）と結合組織（下層）の両方の層を切開します。
- さらに膨張式子宮インサートに取り付けられている子宮壁を切開し，適度にそれを手で開きます。
- 開口部には柔軟な素材が使用され，実物のように広げることができます。
- 2度目の練習を開始するには，子宮壁を反転させて準備します。

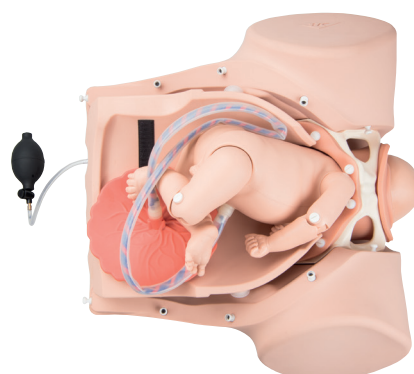


発生頻度の高い妊娠・分娩の異常への対処

肩甲難産

児頭の娩出後，胎児の肩が母体の恥骨や骨盤に引っかかることによって起こります。

- 児頭と上半身に十分な量の潤滑剤を塗ります。
- 分娩シミュレーターに胎児を第1胎向または第2胎向で入れます。
- 陣痛をイメージしながら，子宮口へと胎児を押します。



3B Scientific 分娩シミュレーター

恥骨による通過障害

前在の肩が恥骨に引っかかり娩出できません。

- 胎児を第1胎向または第2胎向で腰部に向かって押して下さい。
- 児頭の一部を娩出します。前在の肩が恥骨に引っかかります。
- 障害物を避けるためのマクロパーツ法の概略について説明します。

骨盤底による通過障害

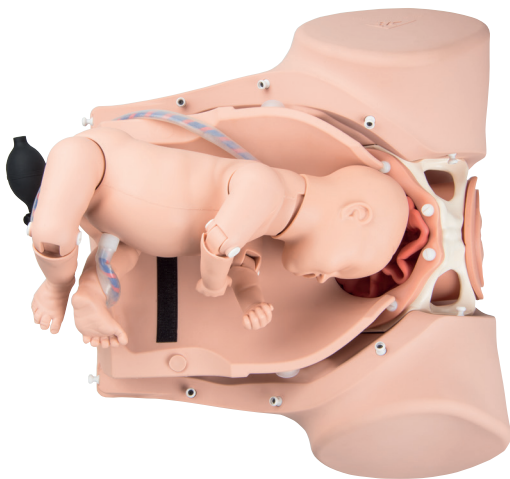
胎児の肩が骨盤内において回転できず、胎児の肩が骨盤底に引っかかります。

- 胎児を第1胎向または第2胎向で腰部に向かって押して下さい。
- 児頭を完全に娩出します。
- 児頭の後頭部が母体に対して前向きになるよう回転させます。
- 肩が骨盤内において横向きの位置に留まります。

前置胎盤

胎児の生命維持器官としての胎盤があるのは、通常は子宮の上部から中央部あたりです。前置胎盤では胎盤は子宮下部にあり、内子宮口の一部または大部分を覆ってしまいます。

前置胎盤のデモンストレーションでは胎盤と胎児の位置関係を見ることが重要になります。



- 胎盤と胎児の位置をわかりやすく示すために、腹壁を取り外します。
- 子宮口周辺に胎盤を置きます。
- 任意の姿勢で胎児を置きます。
- 前置胎盤に対処するためにその後の帝王切開を計画している場合、腹壁を分娩シミュレーターに戻して固定します。
- 腹壁インサートを腹壁にピンとリングで固定し、帝王切開に備えます。

臍帯の異常



アドバイス：

臍帯の異常を再現するためには、臍帯の長さが十分にあることが重要です。既に切断されて短くなった臍帯では再現できない状況もあります。

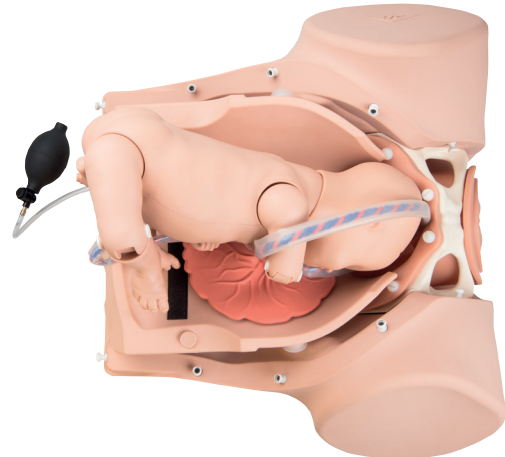
- 臍帯の異常を再現する際は切断されていない臍帯をご準備いただくことをおすすめします。

臍帯下垂

臍帯下垂では、破水前に臍帯が既に子宮口のすぐそばにあります（必要に応じて人工破膜の練習と組み合わせることができます。

「人工破膜」セクションも参照して下さい）。

- 胎児を正常胎位で子宮内に置きます。



- 臍帯の一部が子宮口に来るようにします。
- 腹壁がまだ開いている場合、閉じます。
- 分娩シミュレーターをベルトでテーブルやベッドに固定してある場合はベルトを緩め、トレンデレンブルグ体位にして、臍帯の位置を直すことができますようにします。
- 臍帯の位置が変わらない場合、帝王切開の準備をします。
- 腹壁インサートを腹壁にピンとリングで固定し、帝王切開に備えます。

臍帯脱出

臍帯脱出は、破水後に臍帯が子宮口から脱出します。

- 臍帯下垂と同様に胎児を準備し、臍帯の一部を子宮口から脱出させます。
- 内診指で先進部を挙上させ、帝王切開まで臍帯が圧迫されないようにします。
- 腹壁インサートを腹壁にピンとリングで固定し、帝王切開に備えます。

臍帯巻絡

妊娠中の胎児の動きにより、臍帯が胎児の一部に巻き付くことがあります。

- 胎児の首周りや腕、脚など任意の部位に臍帯を絡ませます。
- 胎児を子宮内にセットします。



3B Scientific 分娩シミュレーター

人工破膜

分娩シミュレーターProには、ポリエチレン製の羊水インサート（卵膜）100枚が含まれており、人工破膜の練習ができます。

- 子宮口が取り付けられているプラスチックのネジに、子宮口の上から羊水インサート（卵膜）を6つの穴で固定します。
- 羊水インサート（卵膜）を子宮口に被せるように取り付けます。



- 羊水インサート（卵膜）に適量の水（最大150 ml）を注ぎ、数滴の模擬羊水液（ボトルから2振り程度）を加えます。



- 膣を経由して鉗子などで卵膜を破膜します。



- 破膜すると羊水液が出てくるので水を回収する容器を準備しておきます。可能であればシミュレーター全体が収まる浅い受け皿のような容器が吸収性の高い布やパッドの上に置くことをおすすめします。

胎盤遺残

胎盤には、マジックテープが付いた、2個の小さな取り外し可能部位（胎盤インサート）があります。胎盤遺残を示すために、腹腔（マジックテープのついた左右2ヶ所）に固定することができます。

- 胎盤インサートのマジックテープのついた面を表にして胎盤にセットします。
- 胎盤インサートのマジックテープを腹腔または子宮のマジックテープに固定します。
- 娩出時に、胎盤片（胎盤インサート）が子宮内に残ります。
- 膣を経由して、遺残した胎盤片を取り除きます。

3B Scientific 分娩シミュレーター

お手入れ方法

シミュレーター表面の汚れは、水を含ませた布で拭き取ることができます。産道の取り外し可能な部分（外陰部と膣部（膣部はPro版のみ）、子宮口）及び胎児は、流水で洗うこともできます。Pro版の腹壁と腹壁インサート、そして膨張式子宮インサートにはフォーム素材が一部使用されています。これらについては、水や湿気を避けて下さい。

保管前に全ての部品が完全に乾燥していることを確認して下さい。



ご注意：

製品を損傷する可能性があるため、溶剤を含む洗剤は使用しないで下さい。恒久的な変色の原因となるため、表面にラベルを貼ったりマークをつけたりはしないようにして下さい。



アドバイス：

新たに練習を開始する前には、必ずその都度十分な量の潤滑剤を塗るようにして下さい。長期間使用しない場合は、「お手入れ方法」の指示に従って汚れを落とし、潤滑剤が残っている部品がないようにして下さい。

技術データ

寸法： シミュレーター 高さ34 cm×幅52 cm×奥行44 cm

重量： Basic版5.85 kg, Pro版7.35 kg

使用温度： -10~40°C

保管温度： -20~60°C

注文表

	品番	詳細	分娩シミュレーター Basic P90B用	分娩シミュレーター Pro P90P用
本体				
	1020332 [P90B]	分娩シミュレーター-Basic		
	1020333 [P90P]	分娩シミュレーター-Pro		
交換部品				
	1020336 [XP90-001]	胎児セット	X	X
	1020342 [XP90-007]	外陰部（膣部あり）×2および子宮口×1		X
	1020343 [XP90-008]	外陰部（膣部あり）×1および子宮口×1		X
	1020344 [XP90-009]	腹壁	X	
	1020345 [XP90-010]	外陰部および子宮口	X	
	1020346 [XP90-011]	腹壁インサート	X	
	1020348 [XP90-013]	ピン30本セット	X	X
	1020349 [XP90-014]	プラスチックネジ10本セット	X	X
消耗品				
	1020338 [XP90-003]	子宮壁		X
	1020339 [XP90-004]	腹壁インサート		X
	1020340 [XP90-005]	完全腹壁セット		X
	1020341 [XP90-006]	羊水インサート（卵膜）		X
	1020347 [XP90-012]	臍帯セット	X	X
	1020608 [XP90-015]	潤滑剤（250 ml×2）	X	X
オプション				
	1020337 [XP90-002]	P90B用アップグレードキット	X	
	1020367 [XP90-016]	膨張式子宮インサート	X	X

3B Scientific
A worldwide group of companies



3B Scientific GmbH

Rudorffweg 8 • 21031 Hamburg • Germany

Tel.: + 49-40-73966-0 • Fax: + 49-40-73966-100

www.3bscientific.com • 3b@3bscientific.com

日本国内問合せ先

日本スリービー・サイエンティフィック株式会社

新潟県新潟市江南区曾野木2-5-18

Tel: 0120-300-056 / 3bs.jp

© Copyright 2016 for instruction manual and design of product:

3B Scientific GmbH, Germany